

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

創業の理想

この仕事を通じて社会に貢献し、立派な人を創る。経営信条は良品・安価・即納。

コントロールケーブル
4分の1程度売上高比率

ドア周り部品
3分の2近く売上高比率

② 中長期の経営戦略

1. 新たな付加価値の創出

ハイレックスグループとハイレックスアクトの技術力を融合・創発させ、お客様の期待を超える新製品開発に注力。

2. 利益追求とコスト削減

部品内製化、共同購買による調達コスト削減、物流ネットワーク最適統合、設備自動化とDX化による原価低減。

3. 提案力のレベル向上

"To be the First-Call Company"をミッションとし、フロントローディングに注力して顧客の経営戦略・開発動向を先読みした提案を実施。

4. 人財への投資促進

若手・女性社員のリーダー起用、DX推進による高付加価値業務への集中、AI活用、グローバル人的資本の強化。

③ 対処すべき課題

① 自動車電動化への対応

- ・EV化に伴うコントロールケーブル需要の頭打ちへの対応
- ・ハイレックスアクト2025年11月4日グループ化による戦略統合

② 経営環境の不確実性

- ・米国通商政策、為替変動、中国経済の先行き不透明への対応

③ 成熟製品の競争力強化

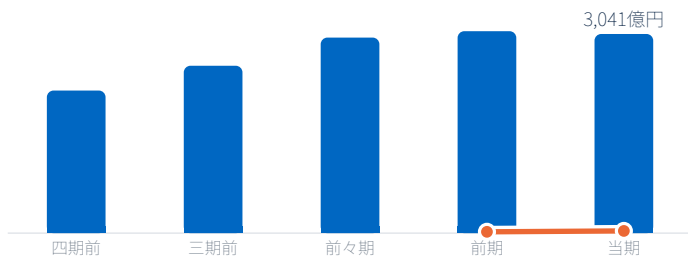
- ・コントロールケーブルやウインドレギュレータの利益率向上施策

面接で使えるポイント

- ・ハイレックスアクト2025年11月4日グループ化で、ドアクロージャーシステム世界トップサプライヤーを目指す経営戦略。
- ・EV化による製品構成変化に対し、4分の1のコントロールケーブルから3分の2のドア周り部品へシフト。
- ・"To be the First-Call Company"ミッションで顧客課題を先読みする提案力と…

証券コード 7279

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,041億円

営業利益率
1.1%

財務健康度
40点 / 100点

要するに
株式会社ハイレックスコーポレーション
…

主力事業・セグメント

- ・North米州 33.9%
- ・アジア 23.3%
- ・日本 17.6%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3,041億円の事業規模
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・平均勤続17.9年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 46.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
559万円

輸送用機器内 75位/82社

平均年齢
44.1歳

輸送用機器内 19位/83社

平均勤続
17.9年

輸送用機器内 35位/83社

女性管理職
1.0%

輸送用機器内 68位/72社

男性育休
30.8%

輸送用機器内 65位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

